

閣議附議案

總動員物資使用取用令制定ノ件

軍需品等ノ生産力増充上預存物資ノ最モ有效ナル集中利用ヲ圖ル
爲國家總動員法第十條ノ規定ニ基テ勅令ヲ制定スルノ必要アリ仍
テ別紙勅令案ヲ提出ス

右閣議ヲ附シ

年 月 日

内閣總理大臣

大臣 大 藏 大 臣

二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

1818

金
書
院

陸軍文庫

海軍文庫

商工文庫

新書文庫

内閣文庫

行田結

勅令第 號

總動員物資使用收用令

第一條 國家總動員法第十條ノ規定ニ基テ總動員物資ノ使用又ハ收用ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 主務大臣國家總動員上必要ナル需要ヲ充足スル爲テ必要アリト認ムルトキハ軍用ニ供スル總動員物資、其ノ生産又ハ修理ニ要スル總動員物資其ノ他附令ヲ以テ定ムル總動員物資ヲ使用又ハ收用スルコトヲ得

主務大臣前項ノ規定ニ依リ總動員物資ヲ使用又ハ收用セントスルトキハ内閣總理大臣ニ協議スベシ

第三條 主務大臣總動員物資ヲ使用又ハ收用セントスルトキハ當該總動員物資ノ所有者ニ對シ使用令書又ハ收用令書ヲ交付スベシ但シ所有者知レザル場合又ハ交付ニ著シキ日數ヲ要スル場合其ノ他所有者ニ交付スルコト著シク困難ナル場合ニ於テハ權限ニ基キ當該總動員

物資ヲ占有スル者ハ以下管理者ト稱スニ對シ之ヲ交付スルヲ以テ
足ル

第四條 主務大臣令書ノ交付ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク令書交付ノ際

ニ於ケル當該總動員物資ノ管理者又ハ所有者其ノ他當該總動員物資

ニ付權利ヲ有スル者ニシテ知レタルモノニ對シ之ヲ通知スベシ令書

交付後當該總動員物資ノ所有者又ハ管理者ト爲リタル者其ノ他當該

總動員物資ニ付權利ヲ有スルニ至リタル者ニシテ知レタルモノニ對

シ亦同シ

主務大臣令書ノ交付ヲ爲シタルトキハ前項ノ通知ノ外軍機保護上特

ニ支障アル場合ヲ除クノ外之ヲ官報ニ公告スベシ

使用又ハ收用セラルル總動員物資ニ付先取特權、質權又ハ抵當權ヲ

有スル者ハ第一項ノ通知ヲ受ケタル日ハ通知ヲ受ケザル者ノ中令書

交付ノ際權利ヲ有スル者ニ在リテハ公告アリタルトキハ公告ノ日、

公告ナカリシトキハ令書ノ交付アリタル日、令書交付後權利ヲ有ス

ルニ盡リタル者ニ在リテハ權利ヲ有スルニ盡リタル日ヨリ一月以
内ニ首級權利ヲ主務大臣ニ届出ツベシ

第五條 使用令書及ハ收用令書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 使用又ハ收用ノ官廳名
- 二 令書ノ交付ヲ受クベキ者ノ名
- 三 使用又ハ收用スベキ總動員物資ノ所有者名（所有者知レザルト
キハ管理者名）
- 四 使用又ハ收用スベキ總動員物資ノ名稱、種類及數量並ニ所在ノ
場所
- 五 使用又ハ收用スベキ總動員物資ノ引渡時期
- 六 使用ノ場合ニ在リテハ使用ノ期間
- 七 第十一條第二項ノ規定ニ依リ所屬官衙ノ長又ハ地方長官ヲシテ
主務大臣ノ職權ヲ行ハシムル場合ニ於テハ其ノ旨
- 八 其ノ他必要ト認ムル事項

第六條 令書ノ交付又ハ第四條第一項ノ通知ヲ受ケタル所有者及管理
 者ハ使用又ハ收用ニ支障ヲ及ボス虞ナキ場合ヲ除ク外主務大臣ノ
 許可ヲ受クルニ非ズレバ使用又ハ收用スベキ強制員物資ノ移管ヲ贊
 成シ若ハ所在ノ場所ヲ變更シ又ハ之ヲ讓渡シ、質貸シ、質權若ハ差
 當權ノ目的ト爲シ其ノ他強制員物資ニ關シ新ナル處分ヲ爲スコ
 トヲ得ズ

第七條 令書ノ交付又ハ第四條第一項ノ通知ヲ受ケタル所有者又ハ管
 理者ハ他ノ者ガ令書ノ交付又ハ第四條第一項ノ通知ノ發現ニ存シタ
 ル先取特權、質權又ハ抵當權ニシテ強制員物資ヲ目的トスルモ
 ノ、現ニ存シタル債權ニシテ強制員物資ノ讓渡又ハ占有ノ移轉
 ヲ目的トスルモノ其ノ他現ニ存シタル法律上ノ原因ニ基キ強制員
 物資ノ所有者又ハ管理者タルニ依リタルトキハ命令ノ定ムル所ニ
 依リ之ヲ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ選擇ナク主務大臣ニ
 報告スベシ強制執行、國稅徵收法ニ依ル強制徵收其ノ他之ニ準スベ

キモノニ基キ他ノ者ガ當該總動員物資ノ所有者又ハ管理者タルニ至
リタルトキ亦同ジ

第八條 令書ノ交付又ハ第四條第一項ノ通知ヲ受ケタル者ニシテ第十
條ノ規定ニ依リ當該總動員物資ノ引渡ヲ爲スベキモノ第六條ノ許可
アリタル場合及前條ノ場合ヲ除クノ外當該總動員物資ニ付滅失、毀
損其ノ他巴ムヲ得ザル事由ニ由リ其ノ使用又ハ收用ニ應ズルコト能
ハザルニ至リタルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ國家總動員法第三十
一條ノ規定ニ基キ選擧ナク主務大臣ニ報告スベシ

第九條 主務大臣令書ヲ交付シタル後ニ於テ當該總動員物資ヲ使用又
ハ收用セザルモノト決定シタルトキハ第十條ノ規定ニ依リ當該總動
員物資ノ引渡ヲ爲スベキ者ニ對シ其ノ旨ヲ通知スベシ

第四條第一項前段及第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十條 令書ノ交付又ハ第九條第一項ノ通知ヲ受ケタル者ニシテ令書
ニ記載シタル引渡時期ニ於テ當該總動員物資ノ所有者タルモノハ其

ノ令書ニ記載シタル時期ニ當該職員の費ノ所在場所ニ於テ之ヲ別
 記スルノ別記時期ニ於テ所有者知レザル場合又ハ所有者ヨリ別記ス
 ルト雖ハザル場合若シテ國庫ナル場合ニ於テハ令書ノ交付又ハ
 第四條第一項ノ通知ヲ受ケタル者ニシテ令書ニ記載シタル別記時期
 ニ於テ當該職員の費ノ管理若シルモノニ於テ之ヲ別記スベシ
 前項ノ規定ハ當該職員の費ニ關シ強制執行手續、國稅徵收法ニ使
 ル強制徵收手續其ノ他之ニ準ズル手續ノ進行中ト雖モ其ノ適用ヲ
 妨グズ

第十一條 主務大臣ハ當該官吏ヲシテ使用又ハ收用スベキ職員の費
 ノ別記ヲ受ケシムルモノトス

主務大臣必要アリト認ムルトキハ其ノ所轄スル官署ノ長又ハ地方長
 官ヲシテ前項ノ規定スル職權ヲ行ハシムルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ別記ヲ受ケシムル場合ニ於テハ
 其ノ身分ヲ以テ職權ヲ持テシムベシ

第十二條 當該官吏總動員物資ノ引渡ヲ受ケタルトキハ受領圖書ヲ作
リ引渡ヲ爲シタル所有者又ハ管理者ニ之ヲ交付スベシ

當該官吏前項ノ規定ニ依リ原本ヲ管理者ニ交付シタル場合ニ於テハ
遺滞ナク所有者ニ對シテモ原本ヲ交付スベシ

第十三條 總動員物資ヲ使用スル場合ニ於テハ當該總動員物資ノ引渡
アリタル時ニ於テ政府其ノ使用權ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ使用ノ期
間其ノ行使ヲ停止セラル但シ使用ヲ妨グザルモノハ此ノ限ニ在ラズ
總動員物資ヲ收用スル場合ニ於テハ當該總動員物資ノ引渡アリタル
時ニ於テ政府其ノ所有權ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ消滅ス

第十四條 使用セラルベキ總動員物資ノ引渡アリタル後當該總動員物
資ノ所有者ト爲リタル者ハ閣令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ國家總動員法
第三十一條ノ規定ニ基キ遺滞ナク主務大臣ニ報告スベシ

第十五條 總動員物資ノ使用期間満了シ又ハ其ノ使用ヲ廢止スルトキ
ハ主務大臣ハ當該總動員物資ヲ所有者ニ返還スベシ但シ返還ノ時期

於テ管理者タルコトヲ得ベキ者ヨリ難ク請求アリタルトキハ其ノ者ニ運送スルコトヲ得

主務大臣前項ノ規定ニ依リ運輸員物費ヲ運送セントスルトキハ難ク運送通知書ヲ運送ヲ受クベキ者ニ交付スベシ但シ所有者知レザル場合又ハ所有者ニ交付スルコト著シク困難ナル場合ニ於テ前項但書ノ規定ニ依ル請求ナキトキハ官報ニ公告スルヲ以テ足ル

第四條第一項前段ノ規定ハ前項ノ場合ニ、第四條第二項ノ規定ハ前項本文ノ場合ニ之ニ準用ス

第十六條 運送通知書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 運送官職名
- 二 運送ヲ受クベキ者ノ名
- 三 運送スベキ運輸員物費ノ所有者名
- 四 運送スベキ運輸員物費ノ名稱、種類及數量並ニ所在ノ場所
- 五 運送ノ時期及場所

六 其ノ他必要ト認ムル事項

前項ノ返還場所ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外引渡ヲ受ケタル場所トス

第十七條 總動員物資ノ使用權ハ返還通知書又ハ公告ノ返還時期ニ於テ消滅ス

第十八條 國家總動員法第二十七條ノ規定ニ依リ補償スベキ損失ハ令書交付ノ時ヨリ使用ノ場合ニ在リテハ返還通知書又ハ公告ノ返還時期、收用ノ場合ニ在リテハ第十條ノ規定ニ依リ當該總動員物資ノ引渡アリタル時ノ間ニ當該總動員物資ニ關シ所有權其ノ他ノ權利ヲ有シタル者ニ付使用又ハ收用ニ因リ通常生ズベキ損失トス

損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ關令ノ定ムル所ニ依リ使用ノ場合ニ在リテハ使用廢止ノ後、收用ノ場合ニ在リテハ收用アリタル後之ヲ請求スベシ但シ使用ノ場合ニ在リテハ關令ヲ以テ定ムル別段ノ時期ニ之ヲ請求スルコトヲ得

第六條ノ規定ニ違反シテ當該總動員物資ノ形質ヲ變更シ若ハ所在ノ場所ヲ變更シ又ハ之ヲ讓渡シ、質貸シ、質權若ハ抵當權ノ目的ト爲シ其ノ他當該總動員物資ニ關シ新ナル處分ヲ爲シタル者ニ對シテハ之ニ係ル損失ノ補償ヲ爲サザルコトヲ得

第十九條 使用又ハ收用シタル總動員物資ガ第四條第三項ノ届出アリタル先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テハ主務大臣ハ當該總動員物資ニ付交付スベキ補償金ヲ供託スベシ届出ナキ場合ト雖モ知レタル先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的タルトキ亦同ジ先取特權者、質權者又ハ抵當權者ハ前項ノ供託金ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第二十條 主務大臣ハ使用又ハ收用セントスル總動員物資ニ關シ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ總動員物資ノ所在ノ場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ當該總動員物資、帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

主務大臣必要アリト認ムルトキハ其ノ所轄スル官衙ノ長又ハ地方長官ヲシテ前項ニ規定スル職權ノ一部ヲ行ハシムルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證狀ヲ携帯セシムベシ

第二十一條 第四條乃至第六條、第九條、第十一條、第十二條、第十五條、第十六條及第十九條ノ規定ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ閣令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條 本令中閣令トアルハ軍機保護上其ノ他軍事上特ニ必要ナル機動資物資ノ使用又ハ收用ニ關スル場合ニ在リテハ陸軍省令又ハ海軍省令トス

前項ノ場合ヲ除クノ外本令中閣令トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督府令、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス

前二項ノ規定ニ基キ陸軍大臣、海軍大臣、朝鮮總督、臺灣總督、樺太總督又ハ南洋廳長官第二條第一項ノ規定ニ依リ使用又ハ收用ス

内閣

ルコトヲ得ル總動員物資ヲ定ムル陸軍省令、海軍省令、總督府令又ハ廳令ヲ發セントスルトキハ内閣總理大臣ニ協議スベシ

第二十三條 本令中主務大臣トアルハ軍機保護上其ノ他軍機上特ニ必要アル總動員物資ノ使用又ハ收用ニ付テハ陸軍大臣又ハ海軍大臣トス

前項ノ場合ヲ除クノ外本令中主務大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トス

本令中地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トス

附則

本令ハ 月 日ヨリ之ヲ施行ス

理由

軍備品等ノ生産力擴充上現存物資ノ最モ有効ナル集中利用ヲ圖ル爲軍
用ニ供スル物資、其ノ生産、修繕ニ要スル物資其ノ他ノ補助員物資ニ
付之ヲ使用又ハ收用ヲ爲スノ必要アルニ由ル

内閣



國家總動員法抄

第十條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資ヲ使用又ハ取用スルコトヲ得

第二十七條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第八條、第十條、第十三條若ハ第十條ノ規定ニ依ル處分第九條ノ規定ニ依ル輸出若ハ輸入ノ命令、第十一條ノ規定ニ依ル資金ノ融通若ハ有價證券ノ購募、引受若ハ買入ノ命令又ハ第十六條ノ規定ニ依ル設備ノ新設、擴張若ハ改良ノ命令ニ因リ生ジタル損失ヲ補償ス

第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

内閣